



# かけはし

No. 22

## あいさつ運動



25日(金)、青少年育成市民会議と大仙警察署の皆さんが来校し、あいさつ運動を行いました。登校した6年生の運営委員の皆さんもお手伝いしてくれて、朝から元気な声が響きました。このあいさつ運動には「なまはげ」も登場し、子どもたちはびっくりしていましたが、大きな声であいさつをしたりなまはげとハイタッチをしたりしました。

師走も近づき、登下校時はだいぶ寒くなってきました。そろそろ手袋も必要な時期かと思えます。本校の子どもたちはポケットに手を入れて歩く子がほとんど見られず、とてもいいことだなと感心しております。いざという時のために、両手を出して安全に登校してほしいです。また、下校時は日暮れも早く、ドライバーからは歩いている子どもがとても見えにくい状況です。しっかり前を向いて歩く、危ないと思ったら立ち止まって様子を見るなど、自分の身を自分でしっかり守り事故のないように注意していきたいものです。

### 保護者面談について（お知らせとお詫び）

例年12月中旬から下旬にかけて行っていた保護者面談の2回目（希望する方のみ）ですが、例年希望する方が少ないことから、今年度は期間を決めての実施はしないこととします。

4年部につきましては11月25日付学年報で実施する旨をお伝えしておりました。この紙面にて訂正してお詫び申し上げます。

なお、学校や学級のことで面談を希望される場合は、いつでも結構ですので連絡帳や電話等でお申し付けください。

## 今年度最後の指導主事訪問

29日(火)、南教育事務所の指導主事をお迎えして、今年度最後の指導主事訪問が行われました。今回の訪問は、国語や算数といった教科指導の訪問とは違い、授業における生徒指導のかかわりに焦点を当てたもので、全ての学級で授業を公開しました。事前に指導者に提出した資料には、単元名やその時間のねらいの他に、「本時における自己有用感を高め、自尊感情を醸成するための手立て」という記述があります。いかにして授業の中で子どもたちが活躍し、「分かった」「勉強が楽しい」「自分の考えが役に立った」といった満足感をもたせるかがポイントとなります。授業では笑顔や喜びがあり、時には拍手が出たりととても楽しく授業を進めていました。また、主人公の心情をじっくり考えている場面もあり、どの学級もしっかりと課題に向かっている姿が見られました。



4松「道徳」

5松「体育」

## お友だちのがんばり

☆第68回青少年読書感想文コンクール

大曲仙北審査

自由読書三席

「僕は上手にしゃべれないを読んで」

△年 ○○ ○○ さん

自由読書入選

「ルドルフともだちひとりだちを読んで」

△年 ○○ ○○ さん

☆令和4年度「人権標語コンテスト」

秋田地方法務局大曲支局長賞

「マスクでも 言葉の暴力 防げない」

△年 ○○ ○○ さん

「大事だよ SNSより SOS」

△年 ○○ ○○ さん